

MRI 機器更新中の院内部署連携による撮影体制の見直し

安居 剛¹⁾ 金井 義弘¹⁾ 見田野 直子²⁾ 山口 かおり²⁾ 高草木 聖子³⁾ 美原 盤⁴⁾

1) 脳血管研究所美原記念病院画像診断科

2) 同 看護部

3) 同 事務部

4) 同 院長

[はじめに] 当院の MRI 撮影は 3T と 1.5T の 2 台体制で、当院患者 804 件/月、他院依頼 82 件/月の撮影を実施している。平成 27 年 11 月、3TMRI の機器更新に際し、42 日間の工事期間は 1 台体制となり、3T 分の撮影件数（約 550 件/月）の減少が見込まれた。撮影件数の減少を補う目的で、画像診断科、看護部、事務部が連携し、機器更新中の撮影体制の見直しを行った。

[撮影体制の変更] ①放射線技師、看護師の勤務時間調整。②外来撮影予約時間枠を夜間帯まで拡大。③病棟患者撮影枠を夕方から早朝に変更。④他院依頼患者の休日撮影枠の拡大。

[撮影実績] 1.5T、1 台での撮影件数は当院患者 606 件/月、他院依頼 68 件/月であった。

[おわりに] MRI 機器更新は、工事期間中の撮影件数減少により病院や患者にとって大きな負担となる。院内各部署が連携することにより撮影体制を見直し、撮影件数の減少の一部を補うことができた。